

令和5年7月 白石市教育委員会定例会 会議録

- 1 招集日時 令和5年7月4日(火) 午後1時30分
- 2 招集場所 白石市役所3階 第3会議室
- 3 出席者 半沢教育長、佐藤委員、小室委員、鈴木委員、大橋委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者
学校管理課 佐藤課長 星教育専門監
山田課長補佐兼学校給食センター所長
大野課長補佐
生涯学習課 佐藤参事兼生涯学習課長
図書館 半澤館長
- 6 本委員会の書記は、次のとおりである。
大野学校管理課長補佐
- 7 開会 午後1時30分
- 8 議事日程
第27号議案 令和6年度使用教科用図書採択希望資料について(案)
第28号議案 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
(案)
第29号議案 令和5年度白石市各種功労者表彰候補者の内申について(案)
- 9 前回会議録の承認について
教育長： (委員全員に諮って) 承認する。
- 10 教育委員会会議録署名委員の指名について
教育長： 小室委員及び鈴木委員を指名する。

1 1 教育長報告

(1) 一般事務報告

- 1 令和5年度文化財講演会(6/17)(生涯学習課長)
- 2 市民大学第1回学習会・開講式(6/20)(生涯学習課長)
- 3 6月議会の教育委員会関係一般質問(会期6/5~21、一般質問6/16)
(学校管理課長)

(1) 佐藤龍彦議員

(学校給食費無償化)

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長：(1) 一般事務報告について
(委員全員に諮って) 承認する。

(2) 専決事務報告

- 1 6月補正予算(その2)について(生涯学習課長)
- 2 感謝状贈呈について(学校管理課長)

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長：(2) 専決事務報告について
(委員全員に諮って) 承認する。

(3) その他

学校管理課長：海老名市教育委員会より、11月10・11日(金・土)に来白予定。10日に海老名市教育長及び教育委員とランチミーティングを行い、その後きぼう学園等を視察したい旨申し出があった。

皆様の参加をお願いしたい。

学校教育保育審議会について近況を報告する。

まだ答申が出されていない状態だが、6月21日河北新報朝刊に記事が掲載された。7月24日に次回審議会が開催されるが、その際に答申が出されることになるかもしれない。

答申概要については、6月定例教育委員会で説明した内容から、若干の変更はあるが大きく変更になることはないと思われる。

8月定例教育委員会で答申の概要及び今後のスケジュールを提示させていただく。その際に皆様からご意見を伺いたい。

以上

(質 疑) : (質 疑 な し)

1 2 議事

第 2 7 号議案 令和 6 年度使用教科用図書採択希望資料について (案)

教育長： 機密案件につき、秘密会にて審議する。

(委員全員に諮って) 全員一致で承認。

※秘密会のため非公開

第 2 8 号議案 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
(案)

○事業番号 1 学校施設環境の整備事業について

(質 疑)

小室委員： 令和 3 年度の事故を反省し、詳細な点検等マニュアルを作りそれに基づき専門業者や市職員または教職員でしっかりと安全点検を行っている。当たり前のことのように記載してあるが、素晴らしいことだと思う。

なおかつ、きぼう学園は長く休校となっていたが、あそこまで綺麗に整備し、新たな子ども達が学んでいるということは、事務局側は大変な苦勞をされたのだと思う。

そのような事を踏まえ、内部評価は B ではなく A で良いのではと思う。

鈴木委員： 小室委員と同じで、目標を上回って達成できたのではないかなと評価した。A で良いのではないかと思う。

佐藤委員： 当初予算 1, 5 0 0 万円に対して、決算額で約 1, 0 0 0 万円増えており、当初予算でここまで予算増となることを計画してなかった等、事務局の見込みに甘さがあったと自己評価したものと思う。

事務局で、B と判断したものであれば、B のままで良いのではないかと思う。

大橋委員： 第一小学校で起きた事故後の点検などは、皆さん点検等頑張っており毎回 2 時間以上かけて詳しく調査されていることは素晴らしいことだと思う。B という自己評価はかなり過小な評価だと思う。

第二小学校の災害復旧工事も進んでいるようなので A 評価で良いと思う。

教育長： 委員の意見で、A又はB評価という意見が出ているが、この場でAもしくはB評価を多数決により決めることもできない。委員からの意見について再度事務局側で検討してみてもどうか。

おそらく事務局がB評価とした理由は、校舎等が相当の築年数が経過しており劣化が進んでいるため、修繕が後手になっている状況にある。本来であれば、修繕計画を立て予防的な措置を取ればよいのだが、そこまで手が回っていないのが実情となっている。そのような事を踏まえて、B評価としていると思われる。

しかし、当初予算1,500万円対して決算として2,500万円となり、1,000万円ほど増額されているので、必要な修繕等については実施できていると思われる。

最終的な評価については、外部学識経験者による外部評価を行うので、その際にAもしくはBの評価を判断することとなる。そちらに判断を任せても良いか。

(委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号2-1 学校学力向上プロジェクト事業

(質 疑)

小室委員： 課題等についてだが、子どもの減少に伴い少人数学級や複式学級が増えてきている。教え方とかではなく、現在の学校としての人数構成や学びの環境に欠陥が生じてきているのではと考えなければならないような状況にある。

例えば、集団思考や共同思考または推論など、子ども達がそのような力を付けることができない環境にあるのではないかと危惧される。そのようなことを課題にするべきと思う。

また、子ども1人1人のつまずき解消の結果分析を基にAIを活用し効果も出ているという話を聞いた。

以前にAIを導入する際の説明にそのような話があった。効果が上がってきているのであればAI活用について課題等に入れても良いと思われる。

大橋委員： 小室委員が共同的な学びが難しい状況にあると発言したが、1人1台タブレット端末によりオンラインで繋がれる状況にあり、例えば市内全体で1年生や2年生が月に数回程度、学校を移動しなくてもオンライン授業等でコミュニケーションが取れるようにならないのかなと思う。

教育長： 来年度に向け、学校間でオンラインにより繋ぎ学ぶカリキュラムを作成している。

日常的に活用し、共同の学びを成立させるのは技術的に可能だが、様々な問題があり難しい状況にある。可能な限り取り入れていきたいと思い、来年度から進めることができるよう準備をしているところです。

鈴木委員： 大橋委員から学校間がオンラインで繋がりコミュニケーションを図れないかという意見に対し、教育長より現実的に様々な課題もあり難しい部分があるという説明を受けた。

各々の学校で様々な行事や予定等スケジュールを合わせないと実施できない。段取りをする教員の負担等を考えると難しいと思う。

そのような問題がある中、特別なテーマや分野に限りオンラインで繋がることは可能かもしれないが、学校現場の対応等を考えると、難しい問題があるのかと思う。

佐藤委員： B評価のままで良いと思う。以前より学力向上に関して様々な考え方があり進めているが2歩進んで1歩下がるような方針の転換等もある。特にここ最近では様々な分野で考え方が以前と変わってきていると感じる。

事務局も大変だと思うが、我々はある意味、教育現場に対応しているプロではないため、各校長及び指導主事等が広い視野を持ち、子ども達がより良い方向へ向かって行けるような対応が必要となる。そのような中で、一気に評価がAになるような施策は難しいのかと思う。

2歩進んで1歩下がるような進め方でも構わないので、学力向上に向け少しずつでも前に進められるような施策を行ってほしい。

教育長： 委員から頂いた意見を基に事務局で再度見直しをさせていただくがいか

がか。
(委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号2-2 国際理解教育推進事業

(質 疑)

小室委員： 様々な事業に対し力を入れているのは非常によく分かるが、これだけの説明で評価をするのは難しい。

例えば目標として英語特区に指定されていることを活かし具体的な目標を立てるのはどうか。小学校6年生だとこのレベル、中学生だったら英検取得、若しくは取得レベルの力がついている等、具体的な目標を設定してはどうか。今回は令和4年度評価なのでこのままで良いが、白石市は英語

特区指定となっていることを踏まえ、今後の考え方としてどうか。

そのような対応ができれば、外部に対し白石市の子ども達はこれだけの実績を備えていると誇れるのではないかと思う。

大橋委員： 例えば目標として、子ども達が外国人に対し片言の英語レベルで構わないが、白石市の紹介ができる等具体的な目標設定が良いと思う。

また、以前より中学生をオーストラリアの学校に派遣しているが、対象を小学生まで含め様々な経験をさせることにより、英語を学びたい子どもが増えるのではないか、又は、英語を学ぶ意味も分かるのではないかと思う。

鈴木委員： ALTに対する質問だが、授業以外の時は職員室で待機し、勤務時間が終わると帰宅という形態となっている。

あたりまえの事だが、以前のALTは、休憩時間や放課後に子ども達とフレンドリーに話をしたり外で遊んだり、部活に参加したり授業以外での関わりがあった。そのおかげで、子ども達の外国人に対する実践的なコミュニケーション能力形成に大きく関わったと思う。

今のALTを見ていると、子ども達と授業以外での関わりが無いように見受けられ、そのような事では子ども達の英語への関心度が高くないのではと思う。

教育専門監： ALTの契約内容を確認し、今後どのような対応ができるか、次回定例教育委員会にて回答する。

教育長： 委員から頂いた意見を基に事務局で再度見直しをさせていただくがいか

がが。
(委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号2-3 生徒指導関係事業

(質 疑)

小室委員： 事業実績に、きぼう学園の開設準備が記載されていないが、どうしてか。

教育専門監： きぼう学園の開設準備については、生徒指導関係事業における予算で対応していないため記載していない。

教育長： 確かに予算科目に該当していないが、生徒指導関係に関連することであり、評価に含めても問題無いのではないか。

小室委員： 評価に含めても良いのであれば、是非記載してほしい。きぼう学園については、準備段階から開設に至るまで非常に評価できることである。

その様なことを踏まえ、内部評価はAで良いと思う。

教育長： 「行きたくなる学校づくり」の取り組みも記載できればと思う。不登校の未然防止事業であり、成果が上がっている学校もある。

小室委員： 「行きたくなる学校づくり」の取り組みについて、令和4年度評価に記載が難しいのであれば、令和5年度評価には記載してほしい。

教育長： 委員から頂いた意見を基に事務局で再度見直しをさせていただくがいか

がか。
(委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号3-1 地域学校協働活動推進事業

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長： (委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号3-2 史跡環境整備事業、市内遺跡発掘調査等事業

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長： (委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号3-3 生涯スポーツ推進事業

(質 疑)

鈴木委員： 令和4年度に大鷹沢地区のグラウンドゴルフ場が新設されたが、事業内容に記載されていないのはなぜか。

佐藤参事： グラウンドゴルフ場の開設については、生涯スポーツ推進事業における予算で対応していないため記載していない。

鈴木委員： グラウンドゴルフは、高齢者でも手軽に参加できるスポーツなので、これからの高齢化時代に対応した、生涯スポーツ推進事業に合致した施設と思われるため、記載しても良いのではないか。

佐藤参事： 鈴木委員よりご指摘のあったグラウンドゴルフについて、令和4年度事業内容を見直し記載させていただく。

鈴木委員： グラウンドゴルフ場利用についての質問だが、例えば年間パスポートや割増回数券の発行等、高齢者や子ども達が利用しやすい環境を作り、利用

者のさらなる増加を図ってみてはどうか。

佐藤参事： グランドゴルフ場の利用等について、大鷹沢まちづくり協議会と業務委託を締結している。

協議会とは定期的に話し合いを行っており、利用者を増やすためイベント等についても様々な提案を受けている。引き続き、話し合いを持ちながら、利用促進に努める。

大橋委員： 以前「ボッチャ」に参加し楽しかったため再度参加したかったが、どこに行けば参加できるのか分からなかった。

各種ニュースポーツの楽しさを広めることは良いと思うが、継続して楽しめるような施設が常設されていると、もっと広まるのではないかと思う。

佐藤参事： 令和4年3月22日に総合型スポーツクラブを設立し、今まで生涯学習課で行っていたニュースポーツ教室等は現在キューブで行っている。

これまでどおりニュースポーツの楽しさをPRしたいと思っている。

教育長： 委員から頂いた意見を基に事務局で再度見直しをさせていただくのがか

が。 (委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号3-4 中央公民館利用事業(貸館業務)

(質 疑)

鈴木委員： 課題等に、「自主的な学びの支援を充実させ」との記載があるが、具体的な内容を伺いたい。

佐藤参事： 多種多様な学習に対応するため、機材等の貸し出し業務や事務手続き等のお手伝いなど、自主的な学びの支援等取り組みを充実させるものです。

鈴木委員： コロナ過でも、実績が著しく伸びている。この数字を見ると令和4年度評価はAで良いのでは。理由は、「自主的な学びの支援を充実させる」について、十分に成果が上がっているからと思う。

貸館業務の実績回数を踏まえても、A評価で良いと思う。市民がどれだけ使用したかの回数が指標になり、数値的にも問題ない。

課題等については、「市民ニーズに合わせた支援を行っていききたい」としたほうが良いのではと思う。

教育長： 委員から頂いた意見を基に事務局で再度見直しをさせていただくのがか

が。 (委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号4 学校給食運営事業

(質 疑)

小室委員： 給食費について、給食センターで一括徴収となったが、令和4年度の滞納金額はどの程度か。

山田所長： 令和4年度滞納金額は60万円程度です。

現在、滞納者にどのように対応しているのかを各自治体に問い合わせ情報収集しているところだが、給食費滞納については法的な手段も含め、公平性の観点からも適切に対応したいと思う。

経済的な事情等で、どうしても支払いが困難な家庭については、就学援助や生活保護等のセーフティーネットを張っている。

鈴木委員： 残食調査の数字が示されているが、コロナ過の前後における数字の分析はしているのか。

以前、給食の際におかわりをする場合は、子どもが自由におかわりしていた。しかしコロナ過では、教師が子どもの代わりに配食するようになったと聞いている。

コロナ前と後では、どのような残食の数字に変化が出ているのか伺いたい。また、コロナ後に残食が増えているのであれば理由を伺いたい。

山田所長： コロナと残食の関係性についての詳しい資料が手元にないため、次回定例教育委員会にて回答する。

大橋委員： 残食率について、副菜の比率が多く見えるが、この比率を減らす工夫はどのようなことをしているのか。

山田所長： 残食を減らす工夫についての詳しい資料が手元にないので、次回定例教育委員会にて回答する。

教育長： 事務局にて、次回定例教育委員会の際に回答させていただくということで、よろしいか。

(委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号5-1 図書館等利活用事業

(質 疑)

小室委員： 本日の施設訪問で白川小学校を訪問した際に、電子図書の一覧表が廊下に掲示してあり、とても良いと感じた。続けていただければと思う。

教育長： (委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

○事業番号5-2 図書館文化事業

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長： (委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

以上、第28号議案 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について(案)についての事務局説明が終わりましたが、本日委員の皆様から出された意見等を再度見直し、次回定例教育委員会への継続審議としてよろしいか。

(委員全員に諮って) 全員一致で承諾。

第29号議案 令和5年度白石市各種功労者表彰候補者の内申について(案)

教育長： 人事案件につき、秘密会にて審議する。

(委員全員に諮って) 全員一致で承認。

※秘密会のため非公開

以上

13 その他

佐藤課長： 7月6・7日(木・金)に東北6県市町村教育委員会連合会第71回定期総会及び教育委員教育長研修会が秋田県大館市で開催されます。8時30分市役所出発するため時間まで参集願います。

次回の定例教育委員会は8月1日(火)13時30分から本庁舎4階の第4会議室で開催予定となっております。

以上

14 閉 会 午後3時38分終了

15 本委員会の議決の結果は、次のとおりである。

第27号議案 令和6年度使用教科用図書採択希望資料について(原案可決)

第28号議案 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
(継続審議)

第29号議案 令和5年度白石市各種功労者表彰候補者の内申について
(原案可決)

令和 5 年 7 月 4 日

署名委員 小室 秀一

署名委員 鈴木 順子